

8402「おい、何時だい」・・・

「おい、何時だい」

「ばかだね、さっきもおなじことを訊いたばかりじゃないか、そろそろ八時だよ。あと一時間すれば九時になるね」

「当たり前じゃねえか、どうもお前は口数が多くていけねえ」

金作がふくれっ面をして女房をたしなめたときに、電話がなった。彼は頬づえをついていた腕をのばして、いそいで電話をとった。

鮎川哲也『人はそれを情死と呼ぶ』

[許容訳例]

“Hey--what’s the time?”

“Don’t be silly--you asked the same thing only a few minutes ago. It’s getting on toward eight. Another hour, and it’ll be nine.”

“What do you expect? You always talk too much, I’m afraid.”

Kinsaku with a sulky look has just admonished his wife when the phone rang.

Reaching his hand beneath his chin he reached out toward the receiver, picking it up in a hurry.

[翻訳例]

“Say--what’s the time?”

“Don’t be stupid--you asked the same thing only a while ago. It’s getting on for eight. Another hour and it’ll be nine.”

“Of course, it will, woman. The trouble with you is you talk too much.”

Kinsaku, with a sulky look, had just given his wife this admonition when the phone rang. Reaching out with the hand that had been propping up his chin he hastily picked up the receiver.

■「おい、何時だい」(8402)

★「おい」にぴったりの英語はありません。多分、男女、愛、夫婦などの関わりの具合が、やはり欧米とはどうしても微妙にずれて、結局、ぴったり対応する表現はありませんが、二人が同じ部屋にいたとしたら Say を使うといいと思います。Hey はかなり遠くに離れているか、あるいは全然知らない人に呼びかける時に使う言葉です。それに、イギリス人はあまり使いません。

★「何時だい」は What’s the time?でしょう。What time is it?とか Do you have the time?でもかまいません。なお、What time do you have?とか What do you make the time?は「あなたの時計によると [では] 今何時ですか」と、自分の時計と較べながら尋ねるときに使う表

現なので、ここではちょっと無理です。

■ばかだね、さっきもおなじことを訊いたばかりじゃないか。(8402)

★「ばかだね」は Don't be silly! でもいいですが、ちょっと柔らかすぎるので Don't be stupid! がいいでしょう。他にも、たとえば、You silly ass! とか You fool! / You idiot! などがありますが、なんとなく子供っぽい感じがします。

★「さっきも」は only a few minutes ago とか only a while ago でしょう。

★「おなじこと」は the same thing です。

★「訊いたばかりじゃないか」は You asked me (the same thing only...) ですが、me は省いても構いません。

■そろそろ八時だよ。(8402)

★「そろそろ八時だよ」は It's getting on toward[for] eight. です。他に It's almost[nearly] eight. としても間違いではありません。

■あと一時間すれば九時になるね(8402)

★「あと一時間すれば」は One more hour, and... でもいいですが、one more は、何となく数えていてさらにもう一つ加えるというような感じがします。another を使いたいと思います。他に In another hour [hour's time] とか In an hour's time としてもいいと思います。

★「九時になるね」は it'll be nine でしょう。

■当たり前じゃねえか。(8402)

★「当たり前じゃねえか」ですが、こういう砕けた表現は、よほど英語圏で暮らして英語に慣れていないと変換できません。たとえば、How could it be otherwise? は完全な英語ですが、どちらかと言うと formal な表現で、ちょっと古めかしいというか、文学的というか、ここで使うにはきれいすぎる感じがします。日常では「当たり前じゃないか」は相手が使った表現を繰り返すことが多く、たとえば、『最新和英口語辞典』(朝日出版社)には“You look like you're angry.” “Of course I am. Look how late you are.” のような例が出ています。ここでも “Of course it will.” ぐらいでいいと思います。it will は it will be nine ということです。さらに “Of course it will, woman.” とできれば完璧になります。この woman は、たとえば、What do you think you're doing there, woman? というように、自分の妻に対して何かあきれたり怒ったりしたようなときによく使う言葉です。なお、Of course it will. の他には What do you expect, woman? も可能です。この場合の expect は「期待する」という意味ではなく What do you *think* will happen? という感じの使い方で「あと一時間で九時にならなかったらおかしい」ということになります。

■「どうもお前は口数が多くていけねえ」(8402)

★「どうもお前は口数が多くていけねえ」の「口数が多くて」には talkative も使えます。たとえば、He's very talkative today. のように。ただ、どちらかと言えば「口が軽い・すぐ人にしゃべってしまう」という意味で使うことが多いと思います。ですから You are always too talkative. でも間違いありませんが、「どうも・・・いけねえ(困った奴だ)」のニュアンスを

出すには The trouble with you is (that) you talk too much. ぐらいが適当です。なお、「どうも・・・いけねえ」に I'm afraid. はちょっと弱いです。これは「言いたくないけど・・・じゃないか」という控えめの感じです。

■金作がふくれっ面をして女房をたしなめたときに、電話がなった。(8402)

★「ふくれっ面をして」は with a sulky look です。sulky はちょっと子供っぽいニュアンスがありますが、日本語の「ふくれっ面」にも‘大人のくせに’のニュアンスが含まれているのでいいのではないかと思います。他には sullen という言葉もありますが、これはちょっと暗い感じです。

★「女房をたしなめる」は admonish his wife とか give his wife an admonition です。

★「電話がなった」は the telephone rang です。

●「背景事態+when…」(たしなめたときに、電話がなった)

普通、「・・・しているとき、・・・した」は「過去進行形+when…」です。「過去時制(admonished)+when…」だと、いつ動作をした(admonished)かという問いに対する答えになってしまいます。したがって、「過去進行形(was admonishing)」(毛利可信氏は「背景の過去進行形」と呼びました)でなければならないのですが、ここでは was admonishing の途中に電話が鳴った(the telephone rang)わけではなく、「たしなめたとき・・・」ですから、「過去完了(had just admonished)+when…」とすることで英語としてうまくいきます。ただ、このままでは前の「どうもお前は口数が多くていけねえ」との関係が曖昧です。日本語に隠れている「こうたしなめたとき、・・・」を英語では表面に出したくなります。したがって、had just admonished thus when…とか had just given his wife this admonition when…とすれば、なんとか通じます。ただ、thus はちょっと固い感じでここでは使いたくないのですが。

■彼は頬づえをついていた腕をのばして、いそいで電話をとった。(8402)

●「連体修飾節+不定代名詞的体言」(頬づえをついていた腕)

「頬づえをついていた腕」は「連体修飾節(頬づえをういていた)+不定代名詞的体言(腕)」ですが、すぐ後に「のばして」と続くので「腕」になっているのでしょう。普通、「頬杖をついて」は with one's chin in one's hand とか with(=resting) one's chin on one's hands です。他に「頬づえをつく」は prop up one's chin も可能ですから「名詞(the hand(s))+関係詞節(that had been rested his chin on his hand(s)/ that had been propping up his chin)」です。

★「腕をのばす」は「手をのばす」です。reach out with the hand; stretch out the hand などでしょう。

★「いそいで」は hastily とか hurriedly です。in a hurry でも間違いではありませんが、これは、たとえば、I did this in a hurry, so it's not very good. のように「本当はもっとゆっくり時間をかけてやりたかったが、その暇がない」といった感じになりますから、この場合にはふさわしくありません。また quickly はその人の気持「あわてて」という感じは入らず、

単に動作の速さとか時間的素早さだけを言っていることになります。

★「電話をとった」は *picked up the receiver* です。

● [して] (それから)

「彼は頬づえをついていた腕をのば [して], いそいで電話をとった」の [して] は「それから」を加えることが出来るので「順次動作」ですから *and* でもいいのですが, 「いそいで」があるので *and* では悠長です. *reach out* という瞬時動作は分詞構文にすると「・・・して」の意味になりますから, ここでは *reaching out...*, *he picked up the receiver* がいいと思います.